

プレスリリース：

eitoeiko より

千葉大二郎展「Hassuism」のおしらせです

日頃より大変お世話になっております。eitoeiko では12月5日より12月26日まで、千葉大二郎個展「Hassuism」を開催いたします。Hassuism(ハスイズム。または水を弾く蓮の葉にかけてハスイズム)とは、コロナ渦における民主化運動や比較宗教・自然崇拝に影響を受けて生まれた思想です。本展では撥水現象を切り口として「水分全般を苦難ととらえ忌避制御すること」をベースに、降り掛かる強権や苦難を可視化するアクションを発表します。皆様のご高覧をお待ちしております。

千葉大二郎 (ちば・だいじろう)

1992年奄美大島生まれ。多摩美術大学を経て、東京芸術大学大学院修了。専攻は日本画。アートユニット「硬軟」としてパフォーマンスを中心に多岐にわたるメディアで活動する傍ら、千葉名義で平面作品を中心に手掛ける。近年の主な参加展覧会にMETA real 日本画のワイルドカード(神奈川県民ホールギャラリー 2016)、絵画たらしめる(アキバタマビ 21 2019)、期待される人間像(個展 eitoeiko 2019)など。



左) Hassuism の概念

ベネチアは撥水都市である。深刻化する浸水被害を解決に導く治水事業は、海を割った預言者の名を冠して『モーゼ計画』と呼ばれている。これほど大量の鳥が落とす糞は雨と見紛うだろう。

右) Hassuism の象徴

蠟を擦り込んだ銀地に浮かび上がるのは、五重になったハスイズムのシンボルである。

展覧会タイトル :Hassuism

作家名：千葉大二郎

会期：2020年12月5日(土)～12月26日(土)

会場：eitoeiko (エイトエイコ)

住所：〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2

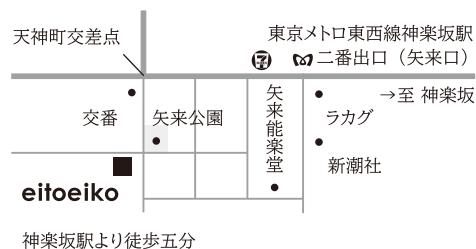
電話：03-6873-3830

開廊時間：12:00～19:00

休廊日：日曜日および月曜日

ウェブサイト：www.eitoeiko.com

ご連絡先メールアドレス：ei@eitoeiko.com



神楽坂駅より徒歩五分